



## 日頃の練習成果を披露

### 第9回文化公演

第9回文化公演が2月9日、東部交流センターで開催され、市内のさまざまな（活動）グループやサークルなどが日頃の活動の成果を披露しました。

特別企画として志佐町の新見タカさんが御厨地区に伝わる松浦の民話「鶴のお土産」を方言を交えながら紹介しました。舞台発表では、民謡、詩吟、舞踊、鷹島元寇太鼓など多彩な演目が披露され、会場から大きな拍手が送られました。展示発表では、華道、俳句、フラワーアレンジメント作品などが多数並び、来場者たちは個性輝く作品を熱心に見入っていました。午後からは、松浦福島つばき会による盆栽講習も行われ、会員がツバキの接ぎ木や挿し方などを指導しました。



## 松浦市がおもしろいトコロに進化中

### 松浦のレトロを切りとるフォトツアー

松浦のレトロをテーマとしたフォトツアーが2月15日、御厨町で開催され、市内外から7人が参加しました。プロのカメラマンの辻尚樹さん（「環境芸術の森」専任フォトグラファー）の指導を受けながら、姫神社、松浦鉄道などを撮影して回り、御厨町の古民家「泉の家」で講評会を行いました。

ツアーを企画した辻田陽子さんは「今回初めての開催で、未知との挑戦でしたが、多くの人のサポートのもと、第1回を開催することができました。

このツアーをきっかけに素敵な松浦を知っていただければ嬉しいです」と話していました。

本ツアーは、本市が昨年度から取り組んでいる「観光地域づくり推進事業」において市民が考案した体験メニューのひとつです。



## 親子で見つめ直す生活習慣

### 松浦市PTA 連合研究大会

令和元年度松浦市PTA連合研究大会が2月9日、文化会館で開催され、約400人が参加しました。

同大会は、市内の子どもたちの健全育成と会員の資質向上を目的に開催されています。

今回、調川中学校PTAの活動報告や、理学療法士の杉野伸治さんによる「目標達成のための必要な生活習慣」と題した講演が行われました。

杉野さんは、心と体のコンディショニング施設「THANKS」で指導されており、スマートフォンなどを夜遅くまで使用することで、コミュニケーション能力や目標達成力に影響を与えることを訴えました。

参加者たちは、親子で生活習慣を見直し、生活リズムを整えることの大切さを学びました。



## 特産品のお茶をもっと身近に

### お茶の淹れかた教室

お茶の淹れかた教室が2月13日、松浦高校で開催され、3年生84人が参加しました。

この事業は、県北地域（佐世保市、松浦市、佐々町）の茶の生産者で組織する「ながさきグリ茶研究会」が主催したものです。

お茶を飲む習慣を次世代に受け継いでもらいたいと、社会に出てお茶を出す機会が増える高校3年生を対象に5年前から開催しています。今回、お茶の知識を深め、実際にお茶を淹れて茶葉やお湯の量、浸出時間で味が変わることを体験しました。

平川豪流さんは「お茶をおいしく淹れる方法が細かくて難しかった。習ったとおりの手順で上手に淹れる自信があります」と話していました。



## 食べ旬です、鷹島

### 鷹島海の市

第14回鷹島海の市（鷹島地区活性化協議会主催）が2月22日、新松浦漁協漁業体験学習施設で開催されました。会場では、本マグロの解体ショーやカキ、サザエなどの海産物のほか、揚げたてのアジフライが販売され、たくさんの来場者で賑わいました。

このイベントは、本マグロの解体ショーが目玉となっています。この日は、41 ㎏の本マグロが登場。手早く解体され、市価の半値ほどで販売されました。

また、阿翁浦地区の郷土料理で、特別な日にお目見えするカキ、サザエ、かまぼこなどを卵でとじたお吸い物「おつぼ」も店頭に並びました。

伊万里市から訪れた木下美紀さんは「初めて鷹島海の市に来ました。おつぼが美味しかった。お土産をたくさん買いました」と話しました。



## いつまでもお元気で

### 横田ツル子さん 100歳のお誕生日

横田ツル子さん（志佐・池成）が3月3日、100歳の誕生日を迎えました。

横田さんは、吉井町で3人兄弟の長女として出生。

志佐町池成の農家に嫁ぎ、6人の子どもに恵まれました。畑仕事をしながら、60代からはデイサービスに通うことを楽しまれていました。平成31年2月から特別養護老人ホーム愛光園に入所。人柄が良く、現在も、近所の方が気にかけて「どがんしよらすとですか」と娘さんによく声をかけられているとのこと。

この日は、ご家族と施設職員に囲まれて笑顔で誕生日を迎えられました。



## ボランティアの輪を広げる

### 中学生の地域貢献活動

中学生によるアルミ缶回収の収益金による寄贈が2月18日、養護老人ホーム海光園で行われました。市内中学校では、平成10年からアルミ缶回収に取り組んでおり、その収益金で地域に役立つものを寄贈しています。今年度の収益金は81,740円（回収量1,973 ㎏）で、リクライニング車椅子を寄贈しました。

寄贈式には、市内生徒の代表として御厨中学校の生徒3人、校長らが参加。今年度の活動を報告し、大内康史理事長に目録を手渡しました。

生徒会新会長の川畑好誠さんは「生徒はもちろん、地域の方々に協力していただき、たくさんのアルミ缶を集めることができました。今後も放送やポスターなどで回収を呼びかけ、地域に貢献したい」と話しました。



## 市の花「つばき」が勢揃い

### 福島つばき祭り

第47回福島つばき祭り（松浦福島つばき会主催）が2月23日、24日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。福島町には約5万本のヤブツバキが自生する初崎群生林があり、ツバキは市の花としても市民に親しまれています。

会場には盆栽や鉢物の展示、苗の販売や園芸指導に加え、小中学生による「つばき」をモチーフにした作品展示のほか、特産物の販売などが行われました。この日、市内外から訪れた愛好家たちは、丹精込めて育てられた盆栽や生け花に見入り、育てた人に魅力や育て方を教わるなど、ツバキについての談話に花を咲かせました。

